



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー
 コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 本山 佐一郎
 (氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-3210-1230

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,659	24.7	123	33.3	125	36.5	85	50.0
28年9月期第1四半期	1,330	20.2	92	△9.8	92	△19.8	56	△8.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
29年9月期第1四半期	円 銭 13.69	円 銭 13.58
28年9月期第1四半期	9.93	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	3,483	2,514	72.0	401.54
28年9月期	3,340	2,432	72.5	393.85

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 2,506百万円 28年9月期 2,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年9月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	24.0	600	38.6	600	27.9	370	△8.8	60.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	6,242,600 株	28年9月期	6,152,600 株
29年9月期1Q	— 株	28年9月期	— 株
29年9月期1Q	6,211,731 株	28年9月期1Q	5,712,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記の予測数値に関する事項につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策に加え、米大統領選後の円安・株高により、景気全般については緩やかな回復傾向となりました。しかし、アジア新興国や資源国の経済の鈍化、英国のEU離脱問題や米国新政権の動向など海外経済の不確実性が高まり、景気や為替動向を注視しなければならない先行き不透明な状況で推移しております。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体などの製造業界におきましては、在庫調整が進展し生産が増加している自動車や輸出が増加した電気機器など、総じて改善傾向となりました。また情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においても、情報セキュリティ分野への投資需要は引き続き高い水準となり、また新規プラットフォーム構築や既存のシステム改修などの需要に加え、Internet of Things (IoT) や人工知能 (AI) をはじめとした先端的IT技術の研究開発への投資も拡大しております。いずれの業界も依然として人手不足は深刻化しており、エンジニアに対する需要は引き続き活況となりました。

このような事業環境の下、「新中期経営計画」に基づき、営業面では現状の労働市場における顧客企業のニーズを見極め、既存の派遣領域を強化するとともにNEWマーケットの開拓も進めてまいりました。

また採用面に関しては、若い未経験人材や女性、外国人エンジニアの積極採用といった独自の採用路線を展開しており、当第1四半期累計期間で107名（前年同四半期88名）の採用となりました。その結果、平成28年12月末現在の在籍エンジニア数は1,195名（前年同月末903名）となっております。人材に関する引き合いの増加に伴い、今後も人材獲得競争が激化することが見込まれるため、引き続き積極的な採用活動により人材確保に努めてまいります。

以上の結果、売上高1,659百万円（前年同四半期比24.7%増）、営業利益123百万円（前年同四半期比33.3%増）、経常利益125百万円（前年同四半期比36.5%増）、四半期純利益85百万円（前年同四半期比50.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は3,483百万円（前事業年度末は3,340百万円）となり142百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,746百万円（前事業年度末は2,489百万円）となり257百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金、その他資産の増加によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は707百万円（前事業年度末は833百万円）となり125百万円減少いたしました。

主な要因は、投資有価証券の減少によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債の残高は968百万円（前事業年度末は907百万円）となり60百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は694百万円（前事業年度末は638百万円）となり55百万円増加いたしました。

主な要因は、未払金57百万円及び未払費用62百万円、その他負債86百万円の増加、未払法人税等70百万円及び賞与引当金70百万円の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は274百万円（前事業年度末は268百万円）となり5百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は2,514百万円（前事業年度末は2,432百万円）となり81百万円増加いたしました。

主な要因は、新株予約権の行使による資本金48百万円及び資本剰余金48百万円の増加、四半期純利益の計上による利益剰余金85百万円の増加、配当金123百万円支払いによる減少、その他有価証券評価差額金25百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績につきまして、現時点では、平成28年11月2日に公表いたしました内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,406,645	1,470,552
受取手形及び売掛金	811,216	831,248
その他	271,711	445,058
貸倒引当金	△81	△84
流動資産合計	2,489,492	2,746,774
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	30,499	29,350
工具、器具及び備品(純額)	12,667	11,463
有形固定資産合計	43,166	40,813
無形固定資産	11,290	10,452
投資その他の資産		
投資有価証券	647,410	524,212
敷金及び保証金	52,958	52,214
その他	78,200	80,105
投資その他の資産合計	778,569	656,532
固定資産合計	833,026	707,798
繰延資産	17,706	28,479
資産合計	3,340,224	3,483,052
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	25,000	20,000
未払金	51,341	109,018
未払費用	160,309	222,908
未払法人税等	85,975	15,752
未払消費税等	121,381	115,776
賞与引当金	172,816	102,312
その他	21,829	108,594
流動負債合計	638,654	694,362
固定負債		
長期借入金	20,000	15,000
退職給付引当金	248,234	258,398
その他	712	712
固定負債合計	268,946	274,111
負債合計	907,600	968,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,101,487	1,149,560
資本剰余金	578,443	626,516
利益剰余金	790,592	752,578
株主資本合計	2,470,523	2,528,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△47,299	△22,010
評価・換算差額等合計	△47,299	△22,010
新株予約権	9,400	7,933
純資産合計	2,432,624	2,514,578
負債純資産合計	3,340,224	3,483,052

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,330,714	1,659,479
売上原価	996,502	1,226,430
売上総利益	334,212	433,049
販売費及び一般管理費	241,649	309,700
営業利益	92,563	123,348
営業外収益		
受取利息	12	0
投資有価証券売却益	—	6,963
その他	473	1,899
営業外収益合計	485	8,862
営業外費用		
支払利息	548	135
債権売却損	304	300
新株予約権発行費償却	—	3,952
株式交付費償却	—	1,328
その他	20	701
営業外費用合計	873	6,419
経常利益	92,175	125,792
税引前四半期純利益	92,175	125,792
法人税、住民税及び事業税	3,281	12,484
法人税等調整額	32,183	28,269
法人税等合計	35,464	40,754
四半期純利益	56,710	85,037

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアアウト ソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,167,037	163,677	1,330,714
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,167,037	163,677	1,330,714
セグメント利益	84,043	8,519	92,563

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアアウト ソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,424,253	235,226	1,659,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,424,253	235,226	1,659,479
セグメント利益	104,745	18,603	123,348

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。